

総務企画常任委員会 行政視察

総務企画常任委員会では、6人の委員全員で11月6日から8日まで鹿児島県鹿屋市と宮崎県延岡市の2市の行政視察を行いました。

鹿屋市の視察は「鹿屋ブランド創出プラン」でした。鹿屋プランについては平成20年に策定した総合計画の重点的なプロジェクトとして位置づけられ、地域の資源や特性を集約して「地域

ブランド」として創出し、鹿屋市を強くアピールするものです。

また、延岡市では各自治体がネットワークを組み、電算システムを共同運用するという自治体クラウドを視察しました。その対象業務は多岐にわたり、住民情報システムから税業務、福祉業務、文書業務、国民健康保険業務等で利用でき、運用上のメリットはセキュリティ確保で財政上のメリットも多大なものでした。

市民経済常任委員会 行政視察

市民経済常任委員会では、10月15日から17日まで、北海道網走市の地域公共交通活性化と釧路市の市民活動センターを視察しました。

網走市では、公共交通の利便性と市民要望の対応として公共交通活性化協議会を設置し、公共交通不便地域へのコミュニティバス及び空白地域へのデマンド型乗り合いタクシーの実証

運行などを検討しています。路線バスの利用拡大では、系統、バス停、料金、停留所の位置を載せた地図の全戸配布を考えています。

釧路市では、市民活動の交流の場として、空き店舗を活用した市民活動センター「わっと」をNPO法人が運営しています。地域づくり活動が幅広い分野で活発に取り組みされており、市民活動への参加意識の高揚、活動団体相互の協力体制の確立などが図られています。

建設水道常任委員会 行政視察

建設水道常任委員会では、10月9日から11日までの3日間で、岡山県玉野市、広島県廿日市市へ行政視察を行いました。

玉野市では、財政・少子高齢・人口減少問題等の社会情勢から下水道事業は極めて厳しい状況でしたが、21年～25年度までの中期経営計画を策定し、経営基盤の強化をしています。下水

道施設の長寿命化計画ではコスト削減をし、効率的な改修を行い、計画的な汚水処理施設の維持管理の実施を目標としています。

廿日市市の定住促進住宅は、ほとんど家賃滞納がなく、指定管理者制度を導入し最小経費で最大効果を狙い業務内容にも十分注意を払って行われていました。2市の調査にあたり、ともに瀬戸内に面する市でありましたが、下水の管理は素晴らしいものでした。

議会運営委員会 行政視察

議会運営委員会では、平成24年10月22日から24日にかけて、(1)議会運営・議会改革について(2)本会議のインターネット動画配信について(3)議会基本条例について(4)議会報告会について、

徳島県小松島市議会と京都府亀岡市議会を行政視察しました。小松島市では、本会議・常任委員会の動画配信の状

況、委員会を設置し議会基本条例を制定した等の説明を受けました。

亀岡市では、本会議のインターネット中継をはじめとして、開かれた議会を指して改革を進めていました。

平成22年には議会基本条例を制定して、一般質問の活性化、政務調査費の全面公開、条例趣旨に基づく議会報告会の開催、議会だよりの充実等を図っているとのことでした。

議会報編集委員会 行政視察

議会報編集委員会は11月14日から15日の日程で、静岡県島田市に行政視察を行いました。

島田市の議会だより編集等に関する特別委員会は7人で構成されていました。発行は年5回で各定例会後と改選時に臨時号を発行しています。発行部数は3万3500部で全世帯に配布していました。またページ数は臨時号を除いて、毎回20ページ前後の内容の濃い構成になっていました。

特徴として、一般質問の原稿は発言議員本人がすべて執筆していました。また一般質問が市民の皆さんに一番関心があると考えて、読みたい議員の記事がすぐに分かるように目次を設け、最初に掲載するページ構成になっていました。島田市の議会だよりは議員自ら執筆、編集することで議会としての情報発信に大きく貢献していました。